

# さようなら原発岩手県集会 2013

2年たった今も、福島第一原発は汚染水漏れの事故がおき、汚染水がたまり続けています。“フクシマ”は世界共通語になり、福島の人々にはいまだ未来が見えません。

原発はひとが制御できないエネルギーです！子どもたちの未来のために、原発のない社会をともにめざしましょう！  
集会へのご参加をお待ちしています！

**日時 2013年6月15日(土)13:30~15:30**

**場所 岩手教育会館 大ホール**

## 1. 基調講演

**「原発はやっぱり割にあわない」**

＝原発ゼロ～再生可能エネルギーへ＝

講師 **大島 堅一先生**(立命館大学教授)



原子力発電が暗黙のうちに受け入れられてきた背景には「クリーンで安全である」と共に「安い」電力というイメージを持たされてきたためです。大島堅一先生は、20年近くにわたって日本の「エネルギー政策とその費用」について研究。「原発は安い」は破綻していると、初めて数的根拠を示した研究者です。安全神話も完全に崩れた今「原発ゼロ」と「再生エネルギー」への転換が必要と訴えています。

(プロフィール)

1967年 福井県鯖江市生まれ  
1987年 一橋大学社会学部入学  
1997年 一橋大学大学院経済学研究科  
博士後期課程単位取得退学  
1997年 高崎経済大学専任講師  
2000年 高崎経済大学経済学部助教授  
2001年 立命館大学国際関係学部教授  
現在に至る。

■所属学会

・環境経済・政策学会 ・日本環境学会  
・日本財政学会 ・日本地方財政学会

■主な著書

著書に『原発のコスト』岩波書店(岩波新書)、『再生可能エネルギーの政治経済学』(東洋経済新報社)、『原発事故の被害と補償』(大月書店)、『原発ゼロ』(かもがわ出版)、『おしえて もんじゅ君』(監修・平凡社) 近著『原発はやっぱり割にあわない』(東洋経済新報)

著書の参加者特別価格販売あり！

## 2. 生産現場から訴える放射能被害

## 3. アピール提案

\* アピール行進(集会終了後 教育会館→大通り)

**保育あり(無料)** 6/12まで申し込んでください！

主催：さようなら原発岩手県集会実行委員会(30団体・順不同)

いわて生活協同組合 盛岡医療生活協同組合 岩手県民主医療機関連合会 平和・民主・革新の日本をめざす岩手の会 農民運動岩手県連合会 岩手県母親大会連絡会 岩手県農業協同組合労働組合 岩手県労働組合連合会 岩手県自治体労働組合総連合 東日本大震災津波救援・復興岩手県民会議 新日本婦人の会岩手県本部 岩手県生活協同組合連合会 矢巾九条の会 原水爆禁止岩手県協議会 岩手県生活と健康を守る会連合会 日本科学者会議岩手支部 三陸の海を放射能から守る岩手の会 憲法9条を守る紫波町民の会 憲法にもとづく教育をすすめる岩手の会 岩手大学生協同組合 岩手県学校生活協同組合 いわて食・農・地域を守る県民運動ネットワーク 城東地区9条の会 原発からの早期撤退を求める岩手県学識者の会 盛岡でもデモし隊☆ 豊かな三陸の海を守る会 原発をなくす岩手県連絡会 いわて生協労働組合 岩手県消費者団体連絡協議会 岩手県商工団体連合会

実行委員会事務局 岩手県消費者団体連絡協議会 電話 019-684-2225 FAX 019-684-2227